

空は青々

校長室だより 令和6年12月23日 NO. 30 校長 高橋 理香

全校集会終了！ 子どもたちの姿に感謝・感動！

12月23日、2学期の前半が終了しました。全校集会の前に行われた表彰式では、多岐にわたる分野で活躍した子どもたちに数多くの賞状を手渡すことができました。全校集会では、静まりかえった体育館で整然と話を聞く子どもたちの姿がありました。今学期も、子どもたちに何度も感動をもらいました。

保護者や地域の皆様には、温かく見守り、支えていただきました。これまでのご支援やご協力に感謝いたします。ありがとうございました。今後も、「地域を愛し、地域に愛される学校」を目指し、教職員共々がんばっていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。全校集会では、次のことを話しました。

今日で2学期の前半が終了します。今学期は、1学期以上に、多くの行事や毎日の学校生活の中で、みなさんが輝く瞬間を見ることができました。一人一人が夢と希望をもち、様々なことにチャレンジする姿、目標を達成するために一生懸命にがんばる姿はとてもすてきでした。私は、いつもみなさんのことを誇りに思っているし、みなさんから、多くの元気や感動をもらえることに感謝しています。ありがとうございます。

今日のはじめに、みなさんに質問を3つします。これまでの振り返りです。人と比べずに、自分自身を振り返り、心の中で考えてみてください。

一つ目 岩中のキーワードは No Challenge, No Chance! です。さて、みなさんはこれまでに、失敗をおそれず、新しいことに何回挑戦することができましたか。

二つ目 これまでの学校生活で、みなさんは一生懸命にがんばってきたと思います。そんな自分自身のことを、自分でほめることができましたか。



三つ目 2学期の始業式に私が話したことです。「この学級、この学年でよかったと思える集団をつくってほしい」この願いはどのくらい達成できたでしょうか。

以上、この3つの質問を、これまでの生活を振り返るものさしにしてほしいと思います。なぜなら、この3つの質問に共通していることは、人が成長するために大切なことだからです。一つ目の「No Challenge, No Chance!」は、年間を通してみなさんにがんばってほしいことです。二つ目の「自分で自分をほめる」ということは、自分を大切にできるということです。自分を大切にできる人は、周りの人も大切にできます。三つ目の「この学級、この学年でよかったと思える集団」、そもそも「いい学級、いい学年、いい学校」とは、どんな集団でしょう。私が思う「いい集団」とは、全員が幸せに生活できる集団です。がんばっている人がいたら応援してあげる、心が折れそうになっている人がいたら励ましてあげる、人がいやがることをしている人がいたら注意してあげる、そんな日常の積み重ねができる集団です。失敗や間違いは誰にでもあります。同じ失敗を繰り返さないように努力することや、間違いを次のステップにすること、そんな、大人だったら「あたりまえのこと」が「あたりまえにできる」集団です。みなさんの所属している集団はどうでしょうか。今日はこの3つをしっかりと振り返ってほしいと思い、話をしました。

最後に、アインシュタインという理論物理学者が残した名言を紹介します。

「昨日から学び、今日に生き、明日に期待する。大切なのは、疑問を持ち続けることです。」

昨日までの自分を変えることはできません。しかし、明日からの自分、未来の自分を変えることはできます。そして、変えられるのは自分だけです。「疑問をもつ」ということは「想像すること」です。「想像力」とは、人がどんな気持ちになるのかを考える力、それをひとは「思いやり」とも言います。

冬休みは、1年を振り返り、新年の抱負を考える、大事な節目です。新しい年を迎えるということは、自分を変えるチャンスをもたらえるということでもあります。一人一人がこれまでの自分、これからの自分を、静かに考える時間をつくってほしいと思います。2025年1月8日に、また、元気なみなさんに会えるのを楽しみにして、あいさつとします。

